

市政レポート 日本共産党一宮市議団の活動をお知らせします。 2023年3月 No. 853

彦坂 和子 尾関 宗夫 渡邊 智史

発行：日本共産党一宮市委員会 TEL.45-5424 Fax 45-5347 一宮市八幡2-13-30

シヤツトル [発行] 日本共産党一宮市委員会 JCP一宮

### 3月市議会が始まりました

一般質問者は14名です 一覧表を参照してください→

#### 日本共産党一宮市議会 彦坂和子議員の一般質問

3月6日(月) 10番目 午後4時頃

- 第3次一宮市公共交通計画策定の延長について
- 今伊勢地域の踏切の安全対策について
- 子どもたちのいのちを守り、安心安全な保育環境を



(1) 競輪場跡地商業施設内の乳児保育園の災害訓練

#### ■3月市議会に市民から請願書が提出されました

○請願書第25号 「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」提出を求める請願書

【請願事項】「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」を国に提出してください

(ア、一宮民主商工会 イ、総務委員会(3/10))



○請願書第26号 小中学校給食費無償化を求める請願書

【請願事項】 1,小中学校の給食費を無償にしてください

2,国や愛知県に対し、無償化への補助を行うように働きかけてください

3,食材費の高騰分については、自治体で補助をしてください。

2,470筆の署名も提出されました。

(ア,学校給食を考える会 イ,経済教育委員会(3/14))



○請願書第27号 保育士配置基準改善を求める意見書の提出を求める請願書

【請願事項】 国に対して「保育士配置基準改善を求める意見書」を提出してください

(ア,一宮市民間保育協会 イ,福祉健康委員会(3/13))

\*ア,請願団体 イ,審議する委員会 紹介議員はいずれも彦坂和子議員



#### 一般質問通告者一覧 (2020年3月議会で通告を取り消した議員は△で表記 敬称略)

議員名	期数	会派	2019年(下段は月)			2020年				2021年				2022			2023	
			6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
浅井 俊彦	7	令和会																
市川 智明	1	公明党	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伊藤 裕通	5	自民党		○	○													
井上 文男	3	令和会	○	○	○	△	○	○		○	○		○	○	○	○	○	
鶴飼 和司	2	自由民主党一輝会	○		○	△	○	○		○			○	○				
宇山 祥子	1	いちのみやを良くする会	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
太田 文人	6	自由民主党一輝会															○	
大津 乃里予	1	自由民主党一輝会	○	○		△	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
岡本 将嗣	4	令和会	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
尾関 さとる	1	令和会	○		○	△	○	○	○	○	○	△		○	○	○	○	
河村 弘保	2	公明党	○	○	○	△	○	○	○					○	○	○	○	
木村 健太	1	令和会		○		△	○	○	○		○			○		○		
京極 扶美子	5	自由民主党一輝会												○			○	
後藤 美由紀	1	いちのみやを良くする会	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
小林 けいめい	1	新緑風会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	
柴田 雄二	4	公明党	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
島津 秀典	2	令和会	○		○						○		○		○			
高木 宏昌	4	一真会		○								○					○	
高橋 一	2	新緑風会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	
竹山 聡	4	令和会	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	
東淵 正人	1	令和会				○			○	○	○		○	○		○		
中村 かずひと	2	新緑風会	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○		
西脇 保廣	5	新緑風会	○		○			○		○			○		○		○	
則竹 安郎	3	令和会	○			△							○				○	
長谷川 八十	2	令和会																
服部 修寛	6	一宮市民クラブ					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
花谷 昌章	5	令和会																
彦坂 和子	3	日本共産党	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	
平松 邦江	4	公明党	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
松井 哲朗	7	自由民主党一輝会									○							
水谷 千恵子	3	公明党	○	○	○	△	○		○		○	○	○	○	○	○	○	
本山 廣次	1	令和会		○	○		○	○	○	○	○			○	○		○	
森 利明	4	令和会		○		△	○				○		○	○				
森 ひとみ	2	自由民主党一輝会	○		○	△	○				○		○	○		○	○	
八木 丈之	4	令和会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
横井 忠史	5	令和会													○			
渡辺 之良	5	令和会									○			○				
渡部 晃久	2	令和会	○	○	○	○	○		○	○		○	○					
合計(名)			23	22	23	9	25	20	22	21	22	15	21	18	21	20	21	

## 国民健康保険税の計算方法

市民の方から、国民健康保険税がいくらになるの？との質問をいただきました。具体的な金額は、シミュレーター→などを参照いただければと思いますが、基本的な計算方法をご紹介します。

一宮市国保自動計算



### 2022年度の保険料の計算方法(一宮市)

国民健康保険税 (①+②+③)	=	所得割額(2021年の所得に対して)	+	均等割(加入者ごと) 平等割(世帯ごと)
①医療保険分 (限度額65万円)	=	(加入者各々の所得-43万円) ×6.7%	+	加入者数×28,800円 世帯あたり24,000円
②後期高齢者支援金分 (限度額20万円)	=	(加入者各々の所得-43万円) ×2.3%	+	加入者数×9,600円 世帯あたり6,000円
③介護保険分(40歳~65歳未満のみ・限度額17万円)	=	(加入者各々の所得-43万円) ×1.9%	+	加入者数×10,800円 世帯あたり6,000円

上記のように国民健康保険加入者の各々で所得割額と均等割額がかかり、世帯に対して平等割が追加されます。

その計算された国民健康保険税額に対し、世帯の状況に合わせて軽減や減免が行われています。

## 市民の願いの軽減・減免の維持存続を求めましょう

一宮市では、国が定める法定減免に対して、追加で均等割と平等割の1割減免を行っています。対象となる世帯は、被保険者と所得に応じて以下のようになっています。

### 2022年度軽減割合(国の法定減免+一宮市条例減免)(単位：円)

被保険者数	1人	2人	3人	4人	5人	+1人毎
<b>3(2+1)割減免</b>	95万以下	147万以下	199万以下	251万以下	303万以下	52万増
<b>6(5+1)割減免</b>	71.5万以下	100万以下	128.5万以下	157万以下	185.5万以下	28.5万増
<b>8(7+1)割減免</b>	43万以下(世帯人数に関わらず)					

※上記の減額・減免に該当しない場合でも、総所得金額などが200万円以下の世帯については均等割と平等割の3割が市の条例により減免されます。

※世帯軽減に該当しない世帯で、4月1日時点で「18歳未満(未就学児を除く)/70歳以上/要介護4,5/身体障害者手帳1~4級/療育手帳A,B/精神障害者保健福祉手帳1,2級/自閉症」に該当する方は均等割の3割が減免されています。(未就学児は国負担で5割減免)

シャトル850号で、国民健康保険税に関する内容をご紹介しました。市民の願いと日本共産党の議席で実現した市の独自減免をなくす事には反対です。

## 高すぎる国民健康保険税は引き下げが必要

所得に占める保険料割合(2019年)は、国保10.0%、協会けんぽ7.5%、健保組合5.8%、共済組合5.8%となっており、国保が高い状態です。国



保の加入者の状況は、制度創設時と現在で大きく変わってきています。1961年と2021年を比較すると、農林水産業者44.7%→2.3%、自営業者24.2%→16.6%、被用者13.9%→33.2%、無職9.4%→43.5%と収入のある層が大きく減少しています。また、後期高齢者医療制度が創設され、社会保険加入の条件緩和で国保加入者は減少しています。

国が負担金を5割近くから37%に引き下げの中で負担が増加しています。全国知事会も国に訴えているように、国の負担を増やして均等割・平等割の廃止することが必要です。

## 低所得世帯・子ども向けの減免制度拡充で収納率も向上

他の保険にはない均等割・平等割が低所得者にとって重い負担となっています。仙台市では、低所得者に対する均等割・平等割2割減免と18歳までの均等割3割減免を2014年から実施し、2019年には100万円超200万円以下の世帯の収納率が85%から94%に向上しています。また、世帯人数が多い世帯ほど収納率向上の効果が上がっており、子どもの均等割の負担が特に重いものとなっていることの現れです。一宮市は、軽減・減免の廃止でなく、国に負担増を求め、低所得者への負担軽減を強めることが必要です。

## 市民の願い・福祉の増進を求める日本共産党議席増を

「福祉の増進」の立場で県民・市民の声を議会に届けているのか日本共産党の地方議員です。現在、県議会で日本共産党の議席が空白なのは、愛知県のみです。一宮市議会でも会派の人数を制限するなど声を届けにくい制度が導入されています。

国の進める政策にもしっかりと意見を出して、県民・市民の権利を守り・福祉の増進を求めていく必要があります。デジタルトランスフォーメーションで、自治体独自施策ができなくなることは、地方分権の趣旨に反します。地域の実情に合わせた取り組みが行えるようなシステムに変更することや、国が国庫負担を増やすことなどを求めることが「福祉の増進」を目的とする地方自治体の責任です。

4月の県会議員選挙、市議会議員選挙で日本共産党の議席増に力をお貸しください。



(わたなべさとし)

お詫びと訂正 前号シャトル852において、会派別名簿の表記に誤りがありました。謹んで訂正いたします。(敬称略) 令和会(17名): 誤: 横井史 正: 横井忠史 自由民主党一輝会(7名)→自由民主党一輝会(6名) 高木宏昌を削除